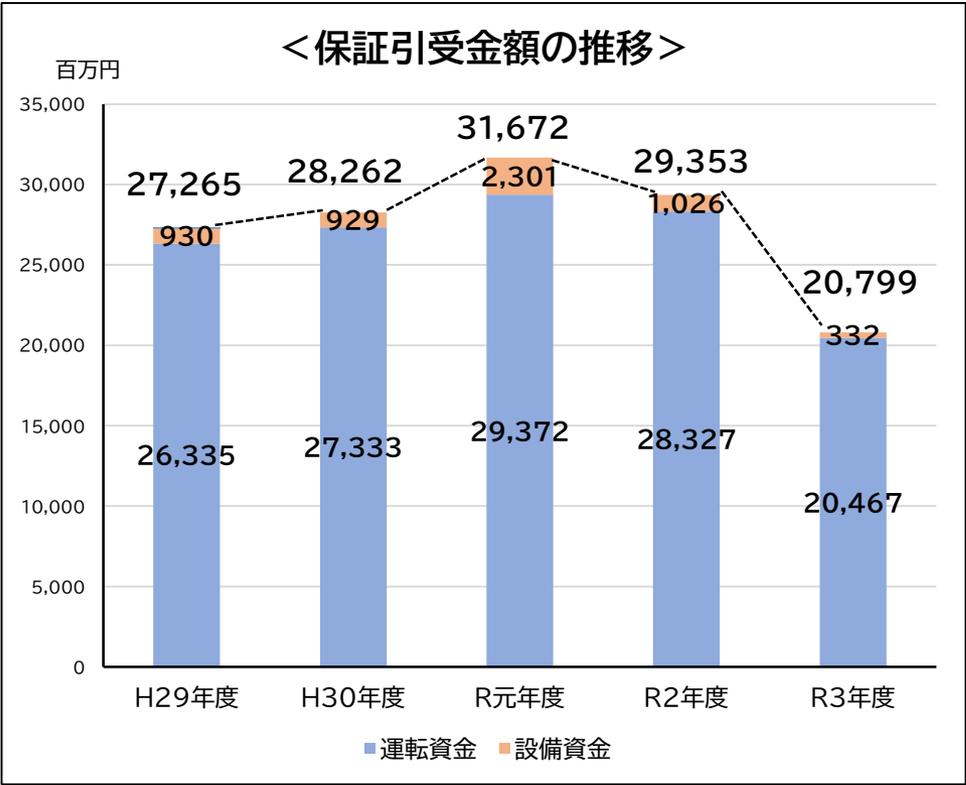


令和3年度の林業信用保証業務実績の概況

1-1. 保証引受

- 保証引受額は、令和元年度までは増加傾向にあったが、その後は減少に転じ、特に令和3年度は、前年度比約86億円(約29.1%)減の208億円となった。
- 資金用途別の保証引受実績について、令和2年度から令和3年度の減少率に着目すると、コロナ関連保証と運転資金の新規・増額の減少が顕著となっている。



<資金用途別の保証引受実績>

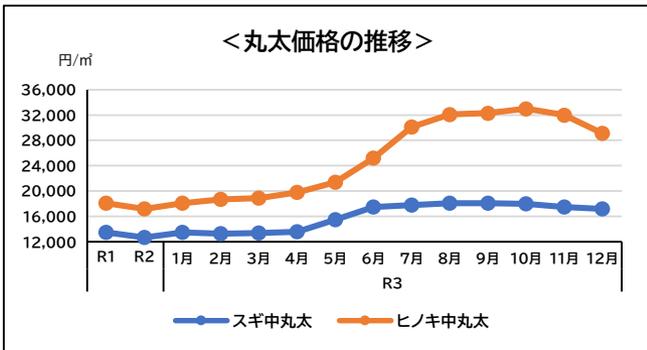
(単位:百万円)

区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度 (①)	R3年度 (②)	増減	
						金額(②-①)	減少率
設備資金	930	929	2,301	1,026	332	▲ 694	▲67.6%
運転資金	26,334	27,333	29,372	28,327	20,467	▲ 7,860	▲27.7%
うち新規	383	730	603	868	103	▲ 765	▲88.1%
うち増額	4,358	4,746	5,339	3,429	384	▲ 3,045	▲88.8%
うち継続	21,594	21,857	23,430	24,030	19,981	▲ 4,049	▲16.9%
合計	27,264	28,262	31,673	29,353	20,799	▲ 8,554	▲29.1%
うちコロナ関連	-	-	-	2,534	130	▲ 2,404	▲94.9%

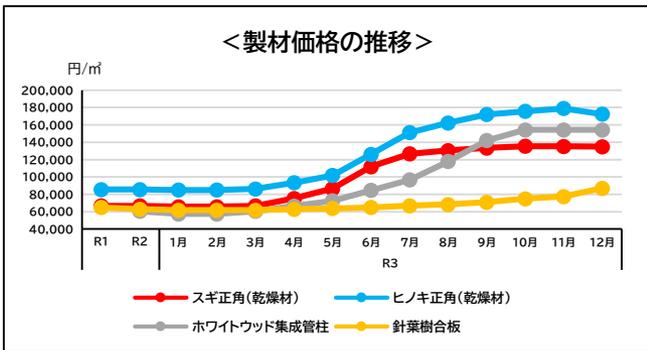
(注)コロナ関連:林業・木材産業災害復旧対策保証及び新型コロナウイルス感染症により影響を受けた林業者のための借換資金への信用保証

1-2. 保証引受

- 保証引受額の減少は、
 - ① 令和2年度以降の国全体のコロナ関連融資の充実等により、コロナ関連保証も含めた保証ニーズが低下したこと。
 - ② 木材不足・価格高騰(いわゆるウッドショック)による国産材の需要増加に伴い、林業・木材産業者全般の財務状況が改善し、借入金のニーズが低下した場合があること。
 - ③ 融資機関との適切なリスク分担を図るための80%保証を原則とする取組が着実に進んだこと。
 等が要因と考えられる。



※データ引用:農林水産省「木材需給報告書」、スギ・ヒノキ中丸太(径14~22cm、長さ3.65~4.0m)



※データ引用:農林水産省「木材需給報告書」、スギ・ヒノキ正角(10.5cm角、長さ3.0m)、ホワイトウッド集成管柱(10.5cm角、長さ2.98~3.0m)、針葉樹合板(厚さ1.2cm、幅91cm、長さ1.82m)

<保証割合別の保証引受状況>

○ 件数 単位:件

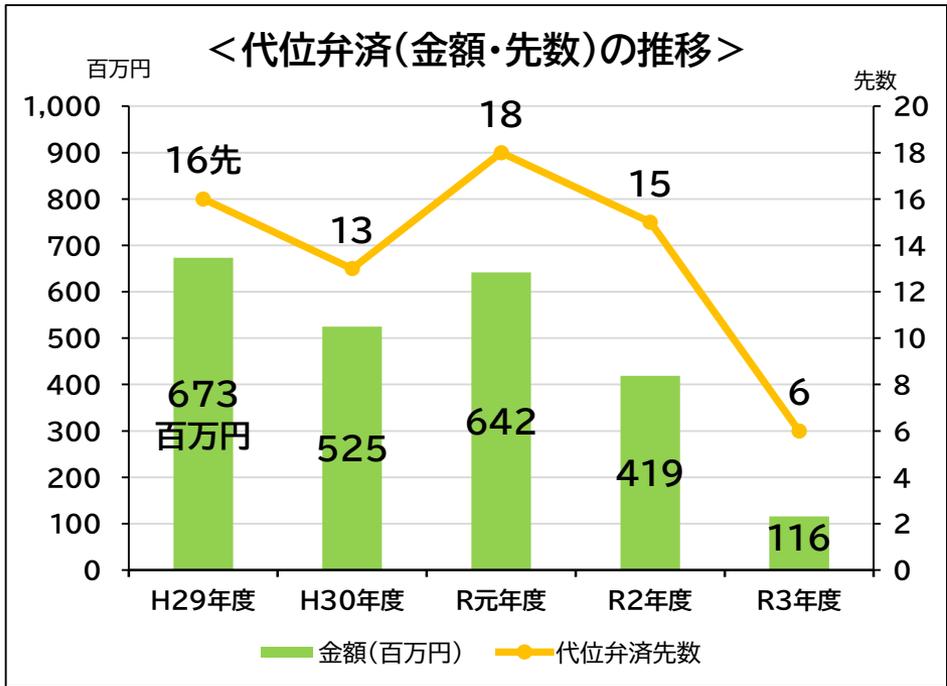
件数	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
					件数	前年度比
100%保証	696	679	647	616	176	28.6%
80%保証	351	329	398	316	533	168.7%
合計	1,047	1,008	1,045	932	709	76.1%

○ 金額 単位:百万円

金額	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
					金額	前年度比
100%保証	20,570	21,916	23,835	22,948	5,862	25.5%
80%保証	6,695	6,346	7,838	6,405	14,937	233.2%
合計	27,265	28,262	31,672	29,353	20,799	70.9%

2. 代位弁済

- 令和3年度の代位弁済額は、116百万円(前年度比27.7%)となり、過去5年間では最小の規模となった。
- 代位弁済額が大きく減少したのは、前年度からの当基金のコロナ関連保証や日本政策金融公庫等のコロナ関連融資(実質無利子・無担保融資)等の支援策が影響したものと考えられる。
- 令和4年度以降、前述のコロナ関連融資の返済が本格化する中で、融資を受けたものの収支改善が難航し、経営不振となる事業者が増加することも想定されるため、今後の動向を注視していく必要がある。



<コロナ対策資金の融資等実績>

日本政策金融公庫セーフティネット関連融資実績

(単位:件、億円)

R元年度		R2年度		R3年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
28,508	4,491	881,785	132,410	230,986	34,330

(注)・日本政策金融公庫「ディスクロージャー誌2022」より作成
 ・「セーフティネット関連融資」とは新型コロナウイルス感染症特別貸付、災害復旧貸付、東日本大震災復興特別貸付、経営環境変化対応資金、金融環境変化対応資金、農林漁業セーフティネット資金等を含む

信用保証協会セーフティネット保証等(全業種/コロナ以外含む)

(単位:件、億円)

R元年度		R2年度		R3年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
25,117	6,718	1,415,372	268,515	162,547	27,546

(注)・中小企業庁HP公表資料「信用保証協会別の保証実績(令和元年度～3年度)」より作成
 ・「セーフティネット保証」(1号～4号、6号)及び「危機関連保証」の実績で、コロナウイルス感染症以外も含む

3. 回収金

- 近年、代位弁済額は低位で推移していることから、回収金も減少傾向にあり、令和3年度の回収金は、前年度に比べ、83百万円減の134百万円となった。
- 求償権残高は減少傾向にあることから、回収金実績も低位で推移することが見込まれる。

